

## 新しい命が もう一つのいのちを救う 認定NPO法人 兵庫さい帯血バンクだより

第29号 2017 10



## ご挨拶

認定NPO法人 兵庫さい帯血バンク 理事長 後 藤 武

兵庫さい帯血バンクでは、前事業年度、18医療施設において2千人以上のお母さんから提供され、検査・調整ののち凍結保存した臍帯血を、全国の145人の患者さんに提供することができました。いただきましたご協力、ご支援に感謝申し上げます。

しかし、当バンク入居先の兵庫医科大学から退去を求められた今年度は、バンクの移転・存続 に向けて、厳しい現実に向き合わなければなりません。

兵庫さい帯血バンクは、国の許可を受けた六つの公的バンクのひとつですが、その中では最も 長い歴史を持ち、これまでに、白血病などの1,700人以上の患者さんの治療に貢献してきました。 また、研究のためにも臍帯血を提供し、海外からの研修生も受け入れてきました。そして、提供 者の負担が少ない臍帯血移植は、近年、同じ造血幹細胞移植である骨髄移植の症例数を上回るようになり、臍帯血移植とそれを支えるバンクの必要性はますます高まってきています。

兵庫さい帯血バンクは、全国唯一のNPO法人として、臍帯血を提供していただくお母さん、 医師をはじめとする採取医療施設の皆さん、そして、搬送ボランティアなど、多くの人々の熱意 と善意によって支えられてきましたので、単なる臍帯血供給事業者としてではなく、生命を支え る社会的財産のひとつとして、将来に引継いでいく覚悟です。

ただ、NPO事業である兵庫さい帯血バンクは、その性格上、資金面に厳しいものがあり、今回の移転にあたって、行政に支援を求めるほか、改めて、県民・市民の皆様からの寄附をお願いする次第となりました。

今後ともの皆様方のご支援、ご協力、何卒よろしくお願い申し上げます。



## "さい帯血バンク"事業に期待する

公益財団法人 先端医療振興財団 細胞療法研究開発センター長 川真田 伸

臍帯血には、様々な血液細胞の元になる造血幹細胞が含まれています。骨髄造血幹細胞移植治療では、この造血幹細胞が患者さんの骨髄に生着し、そこで新しい血液細胞が作られるようになります。臍帯血は骨髄造血幹細胞移植に使われるだけでなく、臨床用のiPS細胞を作る原材料としても使われています。"さい帯血バンク"では患者さんのHLAタイプに合った種々の臍帯血を保存しておりますが、"さい帯血バンク"に保管されている臍帯血のうち、移植後の免疫拒絶が起こりにくいHLAタイプを数種類選んでiPS細胞を作り、それらのiPS細胞を集め新たなiPS細胞ストック(バンク)を作る事業を京都大学CiRAが進めております。臍帯血には、紫外線や加齢などで細胞に生じる遺伝子の傷がありませんので、優良なiPS細胞を作るのには大変適した細胞であり、現在この臍帯血由来iPS細胞を使って色々な再生医療の研究や治療が進められています。実際、網膜色素上皮細胞、心筋細胞、角膜細胞、神経幹細胞、血小板を作る巨核細胞などが臍帯血由来iPS細胞から作られ、臨床応用に向け動物を用いた安全性確認試験が実施または予定されています。この"さい帯血バンク"を活用したiPS細胞ストック設立構想は、"さい帯血バンク"という既存の医療基盤を有効的に活用した事例であり、"さい帯血バンク"が持つ福祉医療面での使命の重さも同時に実感される事例であります。この"さい帯血バンク"事業を今後も拡充していくために、皆様の一層のご支援をお願いいたします。



公益財団法人 先端医療振興財団・細胞療法研究開発センター

# 

## 移植病院手記/



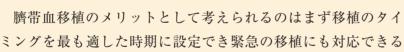
## 臍帯血移植への想い

高槻赤十字病院

血液 · 腫瘍内科部長 安齋 尚之

高槻赤十字病院は2004年に最初の同種移植を行い現在までで136回の同種移植を行っています。2008年に開始した臍帯血移植はその中で86回に上ります。2015~2017年度はそれぞれ16(16)、21(16)、9(7)回の同種移植(()内は臍帯血移植)を行っており80%以上が臍帯血移植になります。臍帯血移植の症例の年齢は21~79歳で中央値は62歳で高齢の方に偏っています。当院のポリシーとして移植にあたっては全身状態が移植に耐えられると判断すれば年齢や原疾患の状態に関わらず可能性を追求しています。







ことがあると思います。また急性GVHDは程度が軽く発症しても容易にコントロールが可能な事が多い・免疫抑制剤は3カ月程度で中止出来ることも少なくない・慢性GVHDの頻度は低い等、高齢者でもADLをあまり落とさず治療できる比較的優しい移植方法であると感じています。最近では臍帯血移植の非常に強いGVL効果が報告されており、私たちも幾つかの症例でその事を実感しています。高齢者で非寛解例の様な場合には欠かすことの出来ない治療法だと信じています。

私事になりますが私は臍帯血移植の基礎を確立されたHal E. Broxmeyer教授の下で4年間、勉強させて戴きました。当時、移植のことを行っていたわけではなく基礎の研究をしていましたが臍帯血は実験にはよく使わせて頂きました。Broxmeyer先生は医師ではなく純粋な科学者で研究に対しては厳しい面もありましたが研究員一人ひとりを気に掛けて下さり私も留学中にも何度か個人的な問題で相談に乗って戴きました。私は研究に対しての真摯な点とその誠実な人柄から先生のことを心から尊敬しており、一人でも多くの患者を臍帯血移植で救うことが先生への恩返しだと感じています。

高槻赤十字病院の臍帯血移植の成績は十分とは決して言えませんし経験不足で痛い目に会うこともありますが、少しでも改善出来る様に免疫抑制の仕方や感染症への対応等はある意味で試行錯誤しながら診療にあたっている状態です。臍帯血は可能性の大きな移植ソースであり移植の実際的な面でも研究でもまだまだ発展する余地は多いと信じています。この分野で働く多くの人々のお陰で臍帯血移植が世界で最も盛んな日本で診療に当たれる事を感謝しています。

# 採取施設紹介 第21回

### オカ・レディース・クリニック

#### 22年間を振り返って

憲史 院長 岡

#### 臍帯血バンクを知ったきっかけ

平成7年、あの阪神淡路大震災の年ですが、私はパルモア病院の勤務医でした。ある妊婦さん が神戸新聞の切り抜きを持参され、「さい帯血バンクというものがあるらしいが、できればこれ に協力したい。|との申し出をされました。

当時の私は「さい帯血バンク | なるものを全く知らず、ボランティア代表の有田美智世さんや兵 庫医科大学輸血部の原宏教授(現名誉教授)などの御指導を受けつつ、臍帯血採取を開始しまし た。運搬については、すべて有田さんのシンパサイザーだった松永潮満さん(故人)が、大阪市内 からアイスボックスを提げパルモア病院まで取りに来て、兵庫医大まで運んでおられました。

以前本誌で原先生が「兵庫さい帯血バンク小史」と題して、発足当初からの経緯を紹介されてい ます。「\*近畿さい帯血バンク |が設立されたのが平成7年11月とされていますから、私の産科医と しての協力も、その時期に始まったのでしょう。

しかし移植に至るまでは困難な道のりであり、私がパルモア病院で採取した臍帯血について、 平成10年7月に10才の再生不良性貧血に移植されたケースが、最初の成功例とのこと。ただしそ の患者さんは移植の1年半後に、2次ガンにより亡くなったそうです。2例目は平成10年11月に、 EBV関連血球貪食症候群に移植され、10年後の追跡時にも元気でおられるとのことでした。た とえ1名の患者さんでも、その方の救命に多少とも貢献できたという事実を知り、臍帯血採取に 着手して本当に良かったと感じております。※兵庫さい帯血バンクの前身

#### 開業して

分娩を扱う有床診療所を開設して、平成10年1月より診療を開始しました。当時は日本で唯一 の(今日では多数ですが)、臍帯血採取施設として認可された個人診療所でした。

母親教室で概略を説明し、妊婦検診で臍帯血の提供をお願いしています。原則として経産婦で、 出産も円滑に進みそうだと予測される方に限定しています。時には妊婦さんの方から進んで提供 の希望を申し出されることもあり、そういう場合は当然ながら初産であっても出来るだけ採取を 行います。

産科医療は今日厳しい状況にあります。マスコミからのバッシングは、時に度を超したものが あり、当事者としてまことに窮屈な思いがあります。しかし、無事に出産を終えられたお母様方、 あるいは家族の幸せそうな顔を見て、さらには生まれたての赤ちゃんの元気な姿を見ていると、

産科医療というものに本当のやり甲斐を感 じ、体力の続く限りこの仕事は続けたいと 思います。

臍帯血の採取についても、私自身が協力 した産科医の先駆けだと自覚しております ので、産科医療を続ける限り意地でも止め ません。

今後とも1人でも多くの患者さんが臍帯血 移植で救命されるよう、祈って止みません。



5000 人目の赤ちゃん 2016.8.26 生



赤ちゃんの写真掲示

## 移植体験者 毛訊



## さい帯血移植を受けて

臍帶血移植経験者 加藤 徳男

1998年6月、初めて受けた町民健診で血液の異常が見つかり、詳しく調べたところ「慢性骨髄性白血病」と診断されました。実家に就農して丸3年、27歳の時でした。真っ暗な宇宙空間へ放り出されたような孤独感、死への恐怖感もありましたが、入院までの数日間で頭の中を整理していくうち、家族に大きな負担をかけてしまうことへの申し訳なさと、以前から関心のあった骨髄バンクヘドナー登録しなかった行動力の無さに悔い思いが残りました。唯一の解決策は、自分の置かれた状況を冷静に見て、肌で感じて、残された時間を精一杯生きること、そう言い聞かせ病と向き合ってきました。

健康な時には気が付かなかったことですが、病になって失うものと得るものを天秤にかけることがあります。時間やお金、仕事や家庭、あらゆる尺度がありますが、「いのち」は人間が持つ秤に掛けることはできないと思いました。得るものでも失うものでもなく、授かるもの。できるのは育む(+)か、育まない(0)か、の二者択一と思えたのです。「明日 $(\ge 0)$ 」という言葉の意味が解ったような気がしました。治療を続ける中、結婚して子供も授かり、かけがえのない希望を得ることができました。骨髄バンクのボランティア活動にも参加し、いろいろな想いに触れることができ、数多の悲しみを乗り越え、育まれ、今があることを知りました。

2002年8月、慢性期から急性転化へ移行し早期の移植が必要となり、11月にさい帯血移植を受けることになりました。当時はまだ成人への移植は少なかったので不安も大きかったのですが、数値と暗号だけが記されたさい帯血のデータから生い立ちを想像し、主治医からさい帯血バンクの様子や移植施設までの運搬時の話を聞いて、不安は徐々に和らいでいきました。そして何より心強かったのは、骨髄バンクができて間もない頃に白血病を発病し、十余年ドナーを待ち続けていたある患者さんが、ようやく臍帯血によって移植に漕ぎ着け無事に生着、という場面を目の当たりにしたことでした。移植日から生着までの31日間は身体的にはとても辛かったですが、精神的には穏やかでいることができました。

先日、臍帯血採取施設の研修会に参加させていただく機会があり、採取に携わる先生のお話を

聞くことができました。大変なご辛労にもかかわらず、心血を注ぐ深い思いを知ることができました。新たな命の誕生が、更に新たないのちのたねとなって産まれ育まれ、この体の中を巡っているのだと思うと、熱いものが込み上げてきました。25mlに詰め込まれたのはさい帯血という名のいのちの結晶。育めば明日はさらに輝くと信じて止みません。





平成28年9月~29年1月





平成28年9月から平成29年1月にかけてさい帯血採取施設を訪問し、さい帯血バンクの現況とドナーリクルー ト及び採取量の増加に向けて勉強会を行いました。







9/30 オカ・レディ



10/3 南川クリニック



マムクリニック



10/7 尼崎医療生協病院





10/17 西神戸医療ヤンター



10/20 高橋産婦人科クリニック



10/21 西川産婦人科









1/26 県立西宮病院



11/4 あさぎり病院



11/7 済生会兵庫県病院



11/15 関西労災病院



11/18 なでしこレディースホスピタル



## **合同研修会**(x)来成29年2月2日(x)(x)(x)(x)(x)

#### 採取施設従事者・ボランティア合同研修会 2017.2.2



あさぎり病院 三村 治副院長



西宮ホワイトライオンズクラブ 茂木久子会長









(兵庫県赤十字血液センター7 F大会議室にて 72 名参加)

## ボランティア支援団体紹介

#### ○国際ロータリークラブ

国際ロータリークラブは、貧困・病気・災害等を対象とした「人 道的プログラム」と青少年を対象とした「教育的プログラム」で"世界でよいことをしよう"をしています。
「さい帯血」に関しては、毎年「チャリティゴルフ」又は「チャリ

ティコンサート」を実施しているほか、女子中高生に対して「さい 帯血に関する絵本の贈呈」や「講演」などを実施しています。

ロータリークラブ内においても「さい帯血」に関する広報活動を しています。

#### 〇西宮ホワイトライオンズクラブ

西宮ホワイトライオンズクラブは、平成29年2月で結成15周年 を迎え、5月に記念例会を挙行し、兵庫さい帯血バンクの後藤理 事長様もご臨席賜りました。

当クラブの重点継続事業は兵庫さい帯血バンク支援ですが、地 域への奉仕活動としてベンチ寄贈、桜植樹、視覚障がい者施設へ 「ゴールボール(パラリンピック競技)」寄贈、食糧支援等の15周年 記念事業をさせて頂きました。

今後も20周年に向けて元気に有意義な更なる活動が出来るよう 頑張って参ります。

#### 〇ライオンズクラブ国際協会335-A地区

ライオンズクラブは世界最大の奉仕団体です。『We Serve』を モットーに各ライオンズクラブは青少年健全育成、社会福祉事業の奉仕を行っております。多くの福祉事業の中でも、さい帯血の 理解を深めるため、セミナーを行いました。バンク主催のチャリ ティー事業を広報し、参加することにより、ともに良い奉仕ができるよう願っております。今後もさい帯血バンクに協力してまい りたいと存じます。

#### 〇国際ソロプチミスト神戸

国際ソロプチミストは、132カ国約7万6千人の会員を有する、 国際的な奉仕組織で、人権と女性の地位を高める奉仕活動をして います。国際ソロプチミスト神戸は1970年に日本で4番目のクラ

### 兵庫県献血功労感謝のつどいはははは、

#### ◆ 平成28年度 2016.9.16





(感謝状受賞:関西労災病院 長谷川香代子/大森スマイルグループ)

#### ◆ 平成29年度 2017.8.31





あさぎり病院 オカ・レディースクリニック

(感謝状受賞:あさぎり病院/オカ・レディースクリニック)

### チャリティコンサート

#### ◆ 第1回 2016.10.14









平成 28 年 10 月 14 日(金)兵庫医科大学[平和記念館]において、"ゴールデンシニアトリオ"によるコンサートが開催されました。

### ◆ 第2回 2017.9.22





喜多宏丞さん



平成29年9月22日(金)西宮フレンテホールにおいて、喜多宏丞さんによるピアノコンサートが開催されました。

ブとして誕生し、3年後、認証50周年を迎えます。毎年ソロプチミストの各プログラムに参加し、又SI神戸独自の活動として16個の継続プログラムがあります。その一つが「認定NPO法人兵庫さい帯血バンク」です。さい帯血採取に協力されている高橋産婦人科クリニックの院長にさい帯血の重要性を講演をして頂き、少しは啓蒙活動が出来たかなと思っています。私達SI神戸ができる奉仕活動を続けたいと思います。

#### 〇兵庫県立西宮ボランティアグループ

昨年設立50周年を迎え、今年は新しい仲間も加わり44名で活動を行っています。院内では、入院案内、花壇の手入れ、移動図書、季節に応じた正面玄関の飾り付け等を継続して行っています。また、平成27年11月から臍帯血を兵庫さい帯血パンクに届ける活動を開始し、現在までに61件のさい帯血を届けることができました。これからもピンクのエプロンを着け、「愛と笑顔と優しい言葉」を心に患者さんや地域に貢献していきたいと思っています。

#### 〇大森スマイルグループ

大森産婦人科から山陽、阪神電車と乗り継ぎ さい帯血を提供して下さるお母様の善意を兵庫さい帯血パンクに安全に届ける お手伝いをさせて頂いております。

今までは平日だけの搬送でしたが土曜日も加わり一件でも多く のさい帯血の提供が有ることを願い八人のメンバーで当番を決め 当日朝バンクからの連絡を待っています。

#### 〇耀きグループ

西宮の高橋産婦人科クリニックに通院中の妊婦さんに、さい帯 血の説明を行っています。妊婦さんやそのご家族の皆様は、熱心にお話を聞いて下っています。

さい帯血とさい帯血バンクの大切さをご理解いただけるよう、これからも活動を続けていきたいと思っています。

## さい帯血採取医療機関紹介

さい帯血の提供は、採取医療機関で出産をされる方にお願いをしています。

平成29年9月末 現在

#### 採取医療機関

住 所

- 1. 地方独立行政法人 神戸市民病院機構 神戸市立西神戸医療センター
- 2. 医療法人社団 憲樹会 オカ・レディース・クリニック
- 3. 尼崎医療生協病院
- 4. 医療法人社団 吉徳会 あさぎり病院
- 5. 医療法人社団 純心会 パルモア病院
- 6. 兵庫県立西宮病院
- 7. マムクリニック
- 8. 兵庫医科大学病院
- 9. 医療法人社団 高橋産婦人科クリニック
- 10. 医療法人社団 恵友会 久保みずきレディースクリニック
- 11. 医療法人社団 直太会 母と子の上田病院
- 12. 松岡産婦人科クリニック
- 13. 医療法人社団 大森産婦人科医院
- 14. 独立行政法人 労働者健康安全機構 関西労災病院
- 15. 医療法人社団 こうのとり会 西川産婦人科
- 16. 医療法人 三友会 なでしこレディースホスピタル
- 17. 医療法人社団 南川クリニック
- 18. 社会福祉法人恩賜財団 済生会兵庫県病院

神戸市西区糀台5丁目7-1

神戸市北区大原3丁目8番1号

尼崎市南武庫之荘12丁目16番1号

明石市朝霧台1120番地2

神戸市中央区北長狭通4丁目7番20号

西宮市六湛寺町13-9

神戸市北区有野町唐櫃3389

西宮市武庫川町1番1号

西宮市和上町6-22

神戸市西区美賀多台3丁目13-8

神戸市中央区国香通1丁目1-4

神戸市北区緑町1丁目6-18

高砂市伊保港町2-5-17

尼崎市稲葉荘3丁目1番16号

姫路市花田町一本松165-1

神戸市西区井吹台東町2丁目13

尼崎市塚口本町2丁目20-1

神戸市北区藤原台中町5丁目1-1



## 移設のための寄付を募っています 皆様の温かい支援をお願いします

●ご寄付のお願い

2.000円を超えるご寄付については、税制上の優遇措置を受けることができます。

個人 1日1万円以上

・金額にかかわらず拝受致します。

法人 1 口 10 万円以上

- ・1 口未満の募金も受付けております。
- 分割してご入金いただくこともできます。

《ご寄付の振込先》

郵便振替:00930-8-37864 兵庫さい帯血バンク



さい帯血バンクについてのお問い合わせ

### 編集後記

当バンクは来年8月までに兵庫医大から退去するよう要請され、現在、移設資金の確保のため、役員、職員一丸となって募金活動に東奔西走中です。

何卒、当バンクが存続できますよう皆様のご協力を お願いします。 広報委員一同

#### 特定非営利活動法人 兵庫さい帯血バンク

事務局 西宮市武庫川町1-1 兵庫医科大学内

TEL.0798-45-6777 FAX.0798-45-6781

URL:http://www.saitaiketu.org

発行日 平成29年10月1日

発行者 後 藤 武